

健康にいがた21(第4次)に関する主な取組について

※【 】内は該当する分野

- 健康立県にいがた推進事業 【健康づくり全般】
- 生活習慣病予防対策推進事業 【栄養・食生活】
- 自然に健康な食事ができる環境づくり事業 【栄養・食生活】
- 8020運動推進特別事業 【歯・口腔の健康】
- 歯みがきスペース環境整備等モデル事業 【歯・口腔の健康】
- たばこ対策推進事業 【喫煙】
- 働く世代へのがん対策事業 【生活習慣病等の発症・重症化予防】
- 自殺予防対策の主な取組 【こころの健康】
- プレコンセプションケアの観点からの取組 【女性の健康】
- 短期集中予防サービス(通所型サービスC)の強化の取組 【高齢者の健康】
- にいがた健康経営推進企業登録制度 【健康づくり全般】

健康立県にいがた推進事業

【目的】すべての世代が生き生きと暮らせる健康立県の実現

【スローガン】はじめよう けんこう time

【5つのテーマ】

「生きがい・幸福度」を軸として、5つのテーマ別に健康づくりを展開



【テーマ別キャッチフレーズ】

食生活	からだがよるこぶ、一皿を足そう。
運動	意識ひとつで、すべてが運動になる。
デンタルケア	あなたのための、歯のプロを。
たばこ	たばこのない一服もある。
早期発見・早期受診	健診・検診で未来の自分を、見つめよう。

【推進体制】

県民の健康寿命延伸を目指した「健康立県」を実現できるよう、下記関係者と連携・協働し県民運動を展開する

健康立県ヘルスプロモーションプロジェクト推進会議



【推進会議で協議・情報共有するテーマ】

- 1 県民運動の創出に関すること
- 2 県民の健康づくりの実践方針に関すること
- 3 構成員が代表する組織内における健康づくりの実践方針に関すること
- 4 健康づくりを効果的に推進するための普及啓発に関すること
- 5 その他、推進会議の目的を達成するために必要な活動に関すること

令和7年度の取組

【全体の取組】

○推進会議の開催(令和7年7月28日)

・健康寿命延伸に向けた取組の紹介と今後の取組に向けた協議
取組紹介

「新潟から世界に向けて発信する医療保険アンメットノードに対する処方箋 ～にいがたヘルスケア情報基盤への期待～」

新潟大学大学院歯学総合研究科血液・内分泌・代謝内科学分野 教授 曾根 博仁 様
「未来の県民の幸せと持続可能な地域社会に向けて推進する、健康経営の意義と効果」
株式会社アイセック 代表取締役CEO 木村 大地 様

○健康立県にいがた推進強化期間(9月～11月)の取組

・健康立県にいがたメインアンバサダー松本莉緒さんを活用したデジタルサイネージ、
YouTube広告を使った健康立県の発信

・健康立県にいがたアンバサダーからの発信
・市町村、推進団体、協定企業、県のイベント等をホームページ等で一括紹介(283イベント)

・おでかけメディアゼロニゴとコラボした健康立県にいがた公式Xキャンペーン

○地域機関における健康立県プロモーション地域推進事業の実施

・12地域機関において地域の特性を踏まえた普及啓発の実施

・地域情報誌への広告掲載

【テーマ別の主な取組】

○食生活:「からだがよるこぶデリ」キャンペーン、やさしい日周知イベントの実施

○運動: にいがたヘルス&スポーツマイレージ事業の健康アプリを活用した市町村のイベント開催や健康ポイント事業との連携

○デンタルケア: 歯みがきスペース環境整備モデル事業やオーラルフレイル予防促進事業の実施

○たばこ: 若年層の喫煙習慣化を防止し「新たな喫煙者」を増やさないための、県内大学等でのワークショップの開催

○早期発見・早期受診: がん検診に関する新聞広告やがんイベントを通じた普及啓発
※その他、女性の健康やEBPMなどをテーマにした取組も実施

【協定締結企業と連携した主な取組】

○(株)ロッテ: 幼児向けの「嘔むことの習慣化」と「口腔機能向上」を目指したプログラムの展開

○明治安田生命保険: にいがた健康経営推進企業登録に向けた事業所への働きかけ及び取組サポート

○住友生命保険: 住友生命が提供する健康アプリを活用したウォーキングイベントの開催

○(株)エヌ・エム・アイ: 薬局サイネージや会員向けメールマガジンを活用した情報発信

生活習慣病予防対策推進事業（健康づくり支援課）

●地域食育充実事業

- ▶全世代が対象
- ▶地域の状況や課題に合わせて、栄養・食生活改善につながる事業を展開

【取組内容】

<働く世代への健康支援>

モデル事業所で従業員の食生活の課題に応じた情報提供と効果検証を実施



(R6) 飲料に含まれる糖分量に関する展示

<高校生野菜レシピコンテスト>

- ・高校の課題として野菜レシピを作成
- ・生活習慣病予防や、野菜摂取、地産地消等の授業を含め、コンテストを通じた食育の普及啓発を実施



(R6) マジやさいレシピコンテストレシピ集

●小学生保護者向け啓発事業（健康づくり支援課・保健体育課）

▶目的

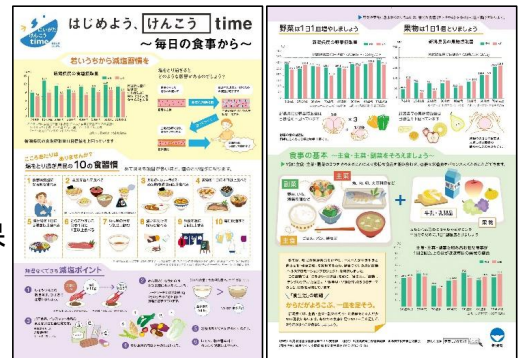
子どもへの影響力の大きい保護者を対象に、小学校の給食試食会や食に関する講座等を活用し望ましい食習慣を普及する。

▶内容

「減塩」と健康立県プロモーション事業で推進している「主食・主菜・副菜をそろえたバランスのよい食事」の2つのテーマについて、小学生とその保護者に普及啓発を実施する。

[R7取組状況]

実施校 267校／453校(実施率58.9%) 啓発人数 18,365人



小学生保護者向け啓発事業共通リーフレット

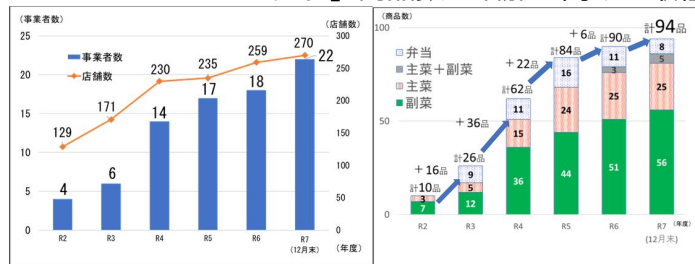
自然に健康な食事ができる取組促進事業（健康づくり支援課）

■事業概要

スーパーマーケット等と連携して、健康に配慮した持ち帰り弁当や総菜などの「中食」の提供や、望ましい食事に関する啓発活動とおし、県民が健康に配慮した食事ができる環境づくりを推進

■取組内容

① 県内全域での「けんこうtime推進店」登録数及び「からだがよろこぶデリ」商品数の増加に向けた取組



④ 認知度向上と利用促進に向けたキャンペーン等の実施



② 広報媒体や既存事業を活用した商品PR



- ・地域機関や市町村、食生活改善推進員等関係団体の各種事業を活用した普及啓発
- ・X(旧Twitter)での発信 等

←(R7) 学校給食とのコラボについてX(旧Twitter)で発信(新発田地域振興局)

③ 親子向けイベントを利用した普及啓発

<R7取組>

- ・こどもシゴト博へのブース出展(8/3ブース来場者数約250名)
- ・オイシックス新潟アルビレックスBCへのイベントブース出展(8月の5日間・ブース来場者数305名)



<R7取組>

- ・健康立県にいがた推進強化期間にあわせて「からだがよろこぶデリキャンペーン」を実施(9/1～11/30)
- ・けんこうtime推進店の店頭で「やさいの日」を周知(8/18～8/31)
- ・野菜摂取量測定イベントを実施(11/1、県内けんこうtime推進店3箇所)

⑤ 市町村等食育担当者を対象に研修会を開催

働く世代の健康課題である野菜摂取量増加等を切り口として、子育て世帯を含む働く世代に向けた食育の取組がより効果的に実施されるよう、市町村及び地域機関の食育担当者を対象に研修会を開催。

8020運動推進特別事業

「にいがた健口文化」醸成事業

事業概要

新潟県歯科保健推進条例の基本理念である「県民一人ひとりの歯・口腔の健康づくりが日常生活の中で習慣化され、将来の世代に伝えられること（＝にいがた健口文化）」の実現を目指し、「にいがた健口文化推進月間（11月）」を中心に地域の実情に応じた取組支援等を行う

主な取組内容

- 1 にいがた健口文化フォーラムの開催（8地域）
- 2 各種メディアを通じた啓発（テレビ、ラジオ等）
- 3 県立図書館でのPR展示
- 4 ポスター等媒体の作成・配布
- 5 県地域機関における普及啓発や意見交換



課題

- ・なんでも噛んで食べられる人は、年齢の増加に伴い減少する。また、一人平均現在歯数も同様に年齢の増加に伴い減少する。
- ・若いうちからかかりつけ歯科医を持つこと等の望ましい歯科保健行動を行う必要性等の一層の周知が必要である。

今後の方向性

身近な様々な場において歯・口腔の健康づくりの取組が進められるよう、市町村や企業等における成人歯科保健に関する取組を促進するとともに、県民の意識・行動の変容・定着を支援するため、普及啓発を行う。

健康・食育・噛むカム推進事業

全国に先駆けて実施

事業概要

(株)ロッテと協同し、幼児の噛むことの習慣化と口腔機能向上を目指したプログラムを令和8年度から県内市町村の保育園で展開する。



よく噛むことを意識し、習慣化をめざす

フーセンカムを使ったトレーニングで口腔機能向上を目指す。

期間：お話し1日45分+事後5日間

推奨 期間：2か月間



主な取組内容

市町村等を対象とした説明会等を開催（8/26、9/11）

課題

- ・ゆっくりよく噛んで食べることにに関する取組を市町村が実施するにあたり、以下支援が市町村より求められており、対応する必要がある。
- ・啓発資材及び噛むことに関する指導教材等の提供
- ・先進的な他市町村の取組に関する情報提供

今後の方向性

保育園児及びその保護者を対象に、(株)ロッテと協働した幼児の噛むことの習慣化と口腔機能向上を目指したプログラムを実施希望のあった市町村で展開し、他市町村へ普及する。

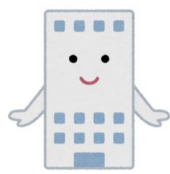
歯みがきスペース環境整備等モデル事業（R5～）

(1) 歯みがきスペース環境整備モデル事業

働く世代等の歯と口の健康を維持・増進するため、企業等における口腔衛生習慣の定着を促進する観点から、歯みがきスペース環境整備に意欲のある企業等（にいがた健康経営推進企業及び県内専門学校）を公募し、その整備に対して補助を行う。さらに、設備整備後に歯科保健指導等を実施し、その効果を検証するモデル事業を実施

○事業イメージ

- モデル事業対象企業
- ▶ にいがた健康経営推進企業
 - ▶ 学校（県内専門学校）



募集・選定

事前アンケート調査

・歯みがきスペースの新設や改修
※社員等からの意見を聴取り、各企業の実情を踏まえて実施
▶ 快適な実施スペースの確保
▶ 感染防止対策も考慮

このようなスペースを作れば、みんな歯みがきするのでは...?

・歯みがき専用スペースの新設や改修
・自動水栓や鏡、換気扇等の設置

○ハード面の支援（補助金）
補助基準額：1,000千円（補助率：1/2）

中間アンケート調査

（設備整備後に実施）

・口腔衛生習慣定着のための歯科保健指導等の実施
・口腔ケア用品の設置
▶ 口腔衛生習慣への意識付け

歯みがき方法やフロス、歯間ブラシの使い方をお伝えします！

新設・改修した歯みがきスペースに口腔ケアグッズを設置（1か月程度）

○ソフト面の支援（研修会+物品）
新潟県歯科保健協会への委託等により実施（企業負担なし）

- ・口腔衛生習慣の定着、歯と口の健康状態の維持・改善
- ▶ 労働生産性の向上等を期待



分析

事後アンケート調査

事業評価：口腔衛生習慣の定着（昼食後の歯みがき、歯間部清掃用具の使用 等）

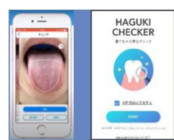
【アンケート結果（主なもの）】

- ・歯間部清掃用具を使用している人の割合が増加
- ・昼食後に歯磨きをする人の割合が増加
- ・歯周病と喫煙の関係や歯周病と糖尿病の関係について知っている人の割合が増加

(2) 専門学校等を対象とした啓発事業（アプリ活用モデルを含む）

組織的な支援が少なくなる専門学校等に対して、口腔チェックアプリ等を活用した新たなアプローチ方法をモデル的に実施

アプリの配信 自己チェック（授業、イベント等で実施）



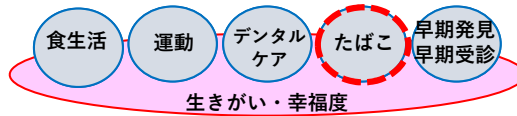
アンケート調査・評価

たばこ対策推進事業

【目的】 すべての県民が生き生きと暮らせる健康立県の実現

【スローガン】 「はじめよう、けんこうtime」

【5つのテーマ】



若年者の喫煙習慣化防止ワークショップ

【目的】

○新たにたばこを吸い始める若年者の減少を目指し、喫煙に関する知識の普及啓発を図るとともに、取組のアイデアについて学生と一緒に考える

【内容】

○たばこに関する現状と対策についての意見交換をワールドカフェ形式で実施
(R7実績：計2回開催・計54名参加)



R7年度開催時の様子 (@シェフパティシエ専門学校)

COPD死亡率の減少に向けた取組

【アストラゼネカ㈱との連携協定事項】

○慢性閉塞性肺疾患（COPD）を含む非感染性疾患（NCDs）の予防及び管理の普及・推進
○「健康立県」施策に関すること 等

【協定締結による取組】

○COPD診療の均てん化・疾病の理解促進を目的とした医療従事者向けセミナーの開催
(令和7年11月8日（土）開催・計43名参加)



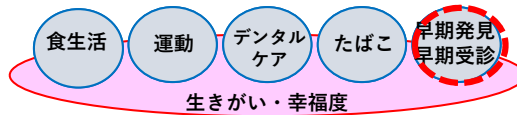
アストラゼネカ㈱との連携協定締結式 (R7. 10. 27)

働く世代へのがん対策事業

【目的】 すべての県民が生き生きと暮らせる健康立県の実現

【スローガン】 「はじめよう、けんこうtime」

【5つのテーマ】



【目的】

○働く世代におけるがん検診受診率を向上させることで、がんの早期発見・早期治療に繋げる。

【内容】

○連携協定締結企業等と連携したがん検診普及啓発
○被用者保険の被扶養者への市町村がん検診の受診勧奨（個別通知）
○新聞社、患者支援団体等と連携したがん対策セミナー開催

【実施内容】

○県が作成したがん検診啓発チラシを企業が実施するセミナーや事業所訪問時に配布
○全国健康保険協会新潟支部と連携し、被扶養者の特定健診案内時に、被扶養者居住地の市町村が実施するがん検診を案内する取組
○新聞社と共催で「がん対策セミナー」を開催し新聞紙面で情報発信
◇セミナー内容 (R7)
・各がん専門医による講演、当部部長の基調講演
・がん体験者による基調講演
・がん患者団体による個別相談、関係団体によるがん予防啓発 など
※そのほか、各保険者やにいがた健康経営推進企業と連携したがん検診一斉広報チラシの配布、各種広報活動等を実施

今年受診しない人
今年も受診する人

健康な今こそ!!
早期がん検診

がん検診

1年後
1年後

「今年検診がいつか病気を発見してくれる!」毎日死んでいくついでに検診を受けたい! 毎日死んでいくついでに検診を受けたい! 毎日死んでいくついでに検診を受けたい!

新潟市では、職場等で検診の機会がない人を対象にがん検診を実施しています。受診を希望される方は、裏面の「がん検診お問い合わせ先」へご連絡ください。

日本では2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで亡くなっています。しかし、がん検診による早期発見と早期治療でこれからは健康に暮らしていくことができます。

早期発見は進行後発見よりも、こんなに生存率が高い!

がん種別	早期発見による生存率	進行後発見による生存率
胃がん	99.7%	4.2%
肺がん	65.6%	7.3%
大腸がん	98.8%	23.3%
乳がん	100%	38.8%
子宮がん	93.6%	26.4%

今後の取り組みに役立てるため、アンケートにご協力をお願いします。
アンケート回答者のうち抽選で50名様に健康立県オリジナルグッズプレゼント! (12月26日(月)まで)

自殺予防対策の主な取組

1 県民運動としての自殺対策の推進

- 自殺予防に関する普及啓発
9月：自殺対策推進月間、3月：自殺対策強化月間等、SNS等の効果的な媒体による広報
- 相談体制の充実
こころの相談ダイヤルの運営
- ゲートキーパー養成事業等人材の養成

2 自殺の多い世代や自殺のリスクが高い人などへの支援

- 働き盛り中高年男性
求職者向けこころとからだの相談会、多重債務相談会での心の相談、職域メンタルヘルス事業
- 高齢者
地域における医療従事者・介護サービス事業者・看護職員等への研修会
- いのちとこころの支援センター事業
自殺未遂者等への相談支援
- こども・若者
SOSの出し方に関する教育事業、WEBリスティング・スマホWEBサイトバナー広告

3 生きづらさを抱えた人への支援

- 自死遺族等支援
- 支援者への意識啓発
地域機関における研修等において様々な分野の関係者への研修参加を促す
- 民間団体事業への補助

プレコンセプションケアの観点からの取組 ～生涯を通じた女性の健康支援事業～

相談支援

- 女性のこころ、からだの相談(県保健所内、女性健康センター)
- 夜間・休日電話相談 県助産師会へ委託

にいがた助産師そうだん ～赤ちゃん、子育て、妊娠、思春期、からだのこと～

健康教育等

- 医師、助産師、保健所保健師等による心や身体、性に関する講演会を実施
- 思春期世代の健康に関する内容について関係機関と情報交換

普及啓発

- プレコンセプションケアに関する内容を県ホームページに掲載

その他

- 女性の健康管理支援アプリ「ルナルナ」を運営する株式会社エムティーアイと「女性の健康管理支援及びプレコンセプションケアの推進に関する連携協定」を締結

短期集中予防サービス（通所型サービスC）の強化の取組

目的：市町村が実施する「介護予防・日常生活支援総合事業」の「通所型サービスC」（専門職等による3～6か月の短期集中的な介入による高齢者の生活課題の解決を目的としたサービス）の強化を図る。

現状・課題（R7年度地域支援事業取組状況調査）

【現状】

県内30市町村中19市町村で通所型サービスCを実施

【課題】

- ・利用者の生活課題の解決につなげていない
- ・サービス利用終了後、心身の状態が維持されない 等

取組経過

- ① 先進地（大分県）において効果をあげている通所型サービスCのノウハウを県内市町村に普及するとともに県アドバイザーを養成（R2～R4年度）
- ② ①で養成した県アドバイザーを市町村に派遣し、各市町村の専門職等の人的資源や、現行のサービス実施体制等をふまえた通所型サービスCの立ち上げ又は強化を支援
 - ・R4年度：三条市、五泉市
 - ・R5～6年度：加茂市、津南町
 - ・R7年度：阿賀野市、佐渡市

【通所型サービスCの強化の視点】

- (1) 対象者の生活課題の抽出と目標設定、合意形成
- (2) 運動、栄養改善、口腔機能向上の複合的アプローチ
- (3) 対象者のセルフマネジメントの定着支援
- (4) リスク管理
- (5) 対象者の意欲を引き出し自信を取り戻すための支援

市町村への支援例



←従事者によるカンファレンスの運営を支援し、より効果的なサービス提供につなげる。



関係者に対する研修開催を支援し→事業目的の周知を図る

市町村のサービス利用者の声

床からの立ち上がりが楽になり、足元をみて降りていた段差が自然と足がでるようになりました。苦あれば楽あり！いくつになっても力はつきますよ



足の手術をし、痛みで外出もままならなかったけれど、教室に通うことで心身共に右肩上がりになりました。家でも習った運動に励んでいます。

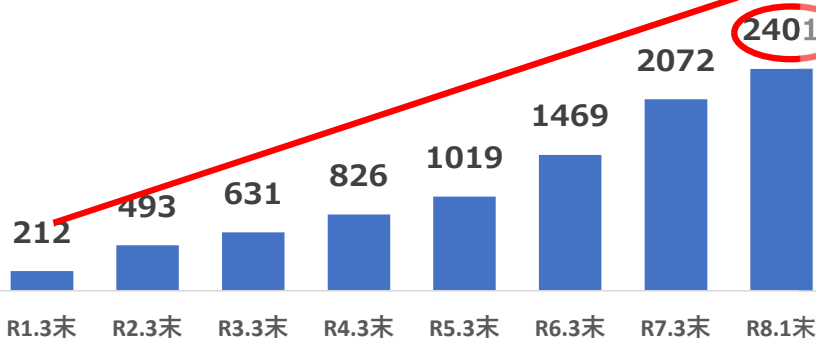


にいがた健康経営推進企業登録制度



登録数の推移

にいがた健康経営推進企業登録事業所数



- ・県内事業所の健康経営の取組を促進するためR1に開始。
- ・自らの健康課題を捉え、その解決に向けてまずは取り組み、次第に取組（質）を深めていくことで、県民の健康寿命の延伸につなげることを目指しています。

にいがた健康経営推進企業



規模別・業種別登録数

■従業員数別

	R8.1		R6年度	
1～49人	1745	72.7%	516	81.9%
50～100人	279	11.6%	52	8.3%
101～300人	288	12.0%	42	6.7%
301～1000人	78	3.2%	19	3.0%
1001人～	11	0.5%	1	0.2%

■業種別

	計	割合
医療、福祉	182	7.6%
飲食、宿泊	34	1.4%
運輸	62	2.6%
卸・小売	432	18.0%
金融・保険	93	3.9%
建設	798	33.2%
製造	325	13.5%
サービス	239	10.0%
情報通信	42	1.7%
その他	194	8.1%

表彰

健康経営推進企業マスター79企業の中から特に取組が顕著な企業に対し、選考委員会により知事賞等を選定(R7.11.12開催)

表彰式の様子は新聞等メディアで広く紹介、企業の取組を広く周知

- R7年度 知事賞 北陸保全工業(株) (新潟市) 奨励賞 (株)越佐ロード (佐渡市)
- 特別賞 (株)高館組 (上越市) 新潟総合警備保障(株) (新潟市)
- 大島電気(株) (十日町市)
- (株)新宣 (新潟市)

▼表彰式



取組支援

- ・新規登録時に健康経営ガイドブックを提供
- ・登録企業の取組事例をホームページやSNSで紹介
- ・県独自のながら運動 (全38種類) 作成し登録企業向けに発信 等

○取組状況フィードバックシートの提供 (新)

取組状況報告書を分析し、業種別・規模別のフィードバックシートを作成、公表



◀ながら運動「ち～とばっか動効果」

大島電気株式会社

所在地	新潟県十日町市朝石町 25 番地
会社HP	https://www.odawaki.co.jp/
従業員数	電気工事業
設立	1949年4月(創業79周年)
従業員数	68人

広めよう！ 業有(つまり)の理に健康経営

「健康経営」というワードも知らず、2016年から総合けんぽや新設会社などの御指導をいただきながら社員の健康管理や生活習慣の改善に取り組んでまいりました。おかげさまで経済産業省と日本健康会議会御指導する健康経営優良法人認定制度で、「2024プライム500(中心組織部門)」に5年連続で選出されました。

今後とも社員の健康に寄り高いながら生活習慣の改善、健康経営への早期発着とフォローを継続するとともに、社員の家族も十日町地域(業有)の方々に健康経営の輪を広げてゆきたいと考えています。

健康経営の取り組み状況

〇ワークライフバランスプロジェクトチームと安全衛生委員会、個人化の取組をすすめ、業務の分散化や時間外・休日出勤の状況を見直し、改善に努めました。現在は年間休職10日以上勤務を目標に活動しています。

〇社内コミュニケーションの活性化や運動不足の解消にウォーキング対抗戦を数回入れ、またマンリ化対策として他企業とウォーキング対抗戦を企画しました。

〇費用削減が身体に悪い影響を及ぼすことを業務推進士や管理職から2回にわたり指導していたが、健康を安定的に保つための取り組みも必要だと、働き方改革として働きやすさスペースを3ヶ所新設。従業員に働きやすさを感じてくれました。

〇健康経営でたばこの喫煙は休憩時間以外禁煙としています。喫煙も禁煙も禁煙場所には禁煙しています。また禁煙を推進するたばこ販売店の補助を行い、禁煙補助金が活用されました。今後も禁煙チャレンジをバックアップし、最終的には休み時間も禁煙も禁煙することで禁煙率の高い会社を目指しています。

▲健康経営ガイドブック

▲取組事例紹介